



Yuzawa Zero Carbon Pitch ゆざわゼロカーボンピッチ 開催レポート

主催 湯沢市
共催 湯沢商工会議所、ゆざわ小町商工会
後援 環境省 / 東北地方環境事務所、秋田県

1 イベント概要

令和5年11月20日(月) 湯沢グランドホテルにおいて、ゆざわゼロカーボンピッチを開催しました。本イベントでは、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指す湯沢市が、先行的なエコ活動を展開する市内事業者等に自社の活動内容等を発表してもらい、脱炭素経営に関心のある方々に新たなビジネス展開、課題解決のヒントにつなげることで、地域経済の活性化とゼロカーボンシティ推進の機運を高めることを目的に開催しました。

※ゼロカーボンピッチ…登壇者が、ゼロカーボンにつながる自社のサービスや技術、活動などを短時間で紹介する催し。

2 発表者と発表内容

▶秋田銘醸(株) <酒蔵からのSDGsへの取組> らんまん美酒爛漫

酒造りの過程で発生する副産物(米ぬか・酒粕)を付加価値化!

- ・清酒製造におけるCO₂削減として電気のデマンド制御、ボイラー稼働台数調整。
- ・農業参入により地域資源を守るサステナブルな活動展開(多収穫米ぎんさん開発や酒造好適米の自社生産)。
- ・生産過程で発生する醸造副産物(米ぬか・酒粕)を有効活用し、付加価値商品化(アップサイクル)により食品素材として多目的加工食品に利用。



▶秋田エプソン(株) <『省・小・精』から生み出す豊かな暮らし>

秋田エプソン株式会社

目標：2030年…1.5℃シナリオ*1に沿った総排出量削減
2050年…「カーボンマイナス」と「地下資源*2消費ゼロ」

*1…SBT イニシアチブ (Science Based Targets initiative) のクライテリアに基づく科学的な知見と整合した温室効果ガスの削減目標
*2…原油、金属などの枯渇性資源

- ・CO₂フリー電力を使用し生産機械の省エネ化、照明LED化、省エネ放送(社員への呼びかけ)による省エネ活動。
- ・熱を使わない独自のインクジェットプリンターなど省エネ型事務機器への切り替えによるCO₂排出量の削減。
- ・使用済みの紙からほとんど水を使わずに新たな紙を生み出す製紙機(ペーパーラボ)の導入によるCO₂排出量の削減。



▶(株)稲庭うどん小川 <うどんの切れ端を活用> 小川

廃棄(うどんの切れ端)から再利用(アップサイクル)へ

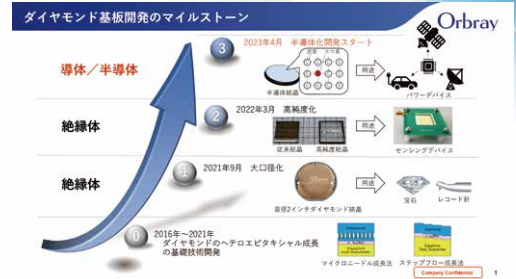
- ・うどんの切れ端はかむ力、飲み込む力の弱った高齢者等に最適であり、県内の高齢者施設や子ども食堂に無料提供し、食料費高騰対策にもなる。様々なアレンジレシピも提供中。
- ・地元事業者とコラボしてクラフトビールの開発・製造。
- ・来店者へのプレゼント。



▶ Orbray (株) <環境に配慮した技術開発、製品づくり> Orbray

技術でカーボンニュートラルに貢献!

- ・省エネのカギを握る「LED」の基となる“サファイア基板”の開発・製造に貢献（サファイア結晶の育成技術、原子レベルの研磨技術）
- ・パワー半導体としての“ダイヤモンド基板”の開発・実用化により、次世代EVのエネルギー効率向上、バッテリーコストの低減などにつながる。



3 アイデア発表 湯沢翔北高校～翔北ゼロカーボンピッチチームから提案～

○ これまでの取り組み

- ・湯沢市ゼロカーボンロゴ作成、市内小学校でのゼロカーボンワークショップほか。

○ 活動を踏まえた提案

- ・湯沢市「総カーボンオフセット」計画作成。
- ・湯沢市「ゼロカーボン教育プログラム」作成。



活動を踏まえた提案



4 パネルディスカッション

○ コメント

- ・公益財団法人地球環境戦略研究機関 **藤野 純一** 様

製品の質を第一に考えながら、廃棄物の削減・有効活用も考えるという、上流から下流まで網羅した理想的な企業の形を見せていただいた。「ごみ」というものを無くしたい。今までお金をかけて廃棄していたものを誰かの笑顔のために活用できないか。そんな風に思いを巡らせて次の人の顔が浮かぶと、新たなアイデアが生まれる。



○ 感想

- ・環境省 東北地方環境事務所 **井上 直己** 様

楽しさを見いだせれば「ストーリー」が生まれる。それを分かりやすく示して周りに広め、続けていくことで経済効果につなげていけたら素晴らしい。

- ・湯沢商工会議所 **和賀 幸雄** 様

究極の無駄をなくす「アップサイクル」について、各社のアイデアになるほどと感じた。商工会議所として色々な形で応援していきたい。住宅建築では価格が安い住宅が人気だが気密性が低く暖房費などが掛かり増しになっているので、新築時から省エネに配慮した住宅の普及が求められる。

- ・湯沢市ビジネス支援センター **藤田 敬太** 様

環境問題は、「分かりやすいこと」と「いかに楽しむか」が非常に重要だと思う。意外と他の会社でどういうことやっているかは見えにくいですが、こういう場でみなさんの取組みをオープンにさせていただくことで、「実はうちでもこんなことしているんですよ」という議論が広がる。今日のような機会が、環境に配慮した取組みが活発になるきっかけとなつたらいいと思う。

- ・Orbray (株) **並木 里也子** 様

意外に身近にあるちょっとしたストーリーを見つけてみんなで考えて、話して、つながって、大きな輪にしていく。「楽しくみんなでやっていこう!」という思いを湯沢から発信したい。

5 アンケート(参加者の感想)

- ・これから生きていく若者が、1年でも1日でも早く環境に興味関心を持って、小さなことでも当たり前前心を配る事ができる世の中なら、それはやがて努力ではなく当たり前世の中になっていくと思います。
- ・他の企業の取組みがわかり、自社も何ができるか考えるきっかけとなった。
- ・私の周りでも何ができるのか考えさせられました。何気に小回りの効く行動力と隣を巻き込む力は“田舎”の方がいると思いますので、この流れが浸透すれば、「湯沢から世界へ」が本当の話になるかもしれません。